

徳島県南みどころ情報誌

阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

四国 の右下

3月号

特集
桜お花見
スポット

もみじ川温泉周辺の桜（前田次美さん撮影）



1



2



3



5



4

- ①「国道195号大久保トンネルをぬけたところの桜は一際華やかです」
- ②川口ダムと桜。
- ③地面まで枝が垂れ下がっている平野のシダレザクラ。
- ④もみじ川温泉横の鎌瀬橋からの眺め。桜の下にレンギョウが咲くそうです。
- ⑤「川が茶色になってしまうので開花時期の前後は大雨降らんようになって毎年思っています。」

「桜の時期がきたら休日はもちろん朝仕事に行く前や終わった後に撮りにいっています」と話す前田さんの勤務先はもみじ川温泉。「温泉の前はなぜか知らんけど、きれいに花びらが一列になるんですよ」と桜と川面に浮かぶ花びらが最近お気に入りの構図。肉眼で見ると写真以上に美しいそうですよ！



国道195号沿いの川口ダム湖畔から道の駅もみじ川温泉と対岸の相生森林美術館やあいあいらんど周辺は知る人ぞ知る桜の名所。那賀川を挟んで両岸に咲き誇る桜は約5000本（主にソメイヨシノ）を数えます。見ごろは例年3月25日前後から4月初旬頃。地元在住で15年前から毎年桜の写真を撮り続けている前田次美さん曰く「きれいに見えるのは3月末頃が多いですね」。もみじ川温泉横の鎌瀬橋を渡り川口ダム（車も通行出来ず）を経由してぐるっと一周、散歩がてらお花見スポットを探してみたいかがでしょうか。

川口ダム湖畔ともみじ川温泉周辺の桜（那賀町）

日本気象協会によると、今年の徳島県（徳島市）の桜の開花予想日は3月28日。四国の右下エリアの暖かいところはそれよりもう少し早くなりそうです！

桜お花見 スポット

特集

目次	
桜お花見スポット	p2
ぶらり旅風景	p6
モノクロペディア	p9
地元LOVE	p10
四国の右下ter	p12
県民ギャラリー	p13
	p14
	p15



桜街道 (美波町志和岐～阿部(あぶ)～伊座利)

県道由岐大西線には約1,000本の桜が咲き誇る。桜越しに望む太平洋は、絶景そのもの。見ごろは3月下旬～4月上旬。桜のトンネル内を走る「桜街道・夢マラソン」4/3、9:30スタート。お花見がてら応援に来てください。

☎ 美波町産業振興課 ☎0884-77-3617



牛岐城址公園 (阿南市富岡町)

一帯にはソメイヨシノが植樹され、満開時には城山を埋め尽くす。階段途中にベンチ等が設置されており、気軽に桜世界に浸ることができる。3/26にイベントあり。

☎ 阿南市商工観光労政課 ☎0884-22-3290



日和佐城・城山公園 (美波町日和佐浦) **薬王寺** (美波町奥河内)

八重桜やソメイヨシノなど1500本近くの桜が咲き乱れ、夜桜も見事。近くの薬王寺にも約300本の桜があり、春は町全体が桜色に染まる。見ごろは4月上旬～中旬。3/25～4/10の間、薬王寺・城山公園では、18:30～22:00までぼんぼり500個が灯る。

☎ 美波町産業振興課 ☎0884-77-3617



大塚製薬徳島ワジキ工場のしだれ桜 (那賀町小仁宇)

八重咲きの桜のため、一輪、一輪にボリュームがあり、下から空を見上げると、ピンク色の雪のよう。敷地内は開放されているので、ピクニックに最適。

☎ 那賀町観光協会 ☎0884-62-1198



妙見山 (海陽町奥浦)

標高30mの山に約700本の桜が植樹され、夜桜が楽しめるようにぼんぼりを飾り、ライトアップ。お琴の音楽も流し花見の雰囲気演出する。見ごろは3月下旬～4月上旬。

☎ 海陽町観光協会 ☎0884-76-3050

桜 お花見 スポット



津峯公園・津峯スカイライン (阿南市津乃峰町)

津峯山一帯に2000本のソメイヨシノ・ぼたん桜・山桜が咲き誇る。海と桜の絶妙な組み合わせを愛でることができるのもここならでは。見ごろは4月上旬。

☎ 阿南市商工観光労政課 ☎0884-22-3290



岩脇公園・桜づつみ公園 (阿南市羽ノ浦町岩脇)

ソメイヨシノを中心に公園全体で約1000本。約400mの桜トンネルが続く桜の名所で、夜にはライトアップも行われる。近くにある「桜づつみ公園」にも約200本の桜が植えられている。見ごろは3月下旬から4月上旬。「岩脇公園桜まつり」3/26～4/10 4/3、9:30～金管バンド演奏や野外お茶席などのイベントがある。

☎ 岩脇公園桜まつり保存会 亥本輝久 ☎0884-44-2632

阿南市北部

平成18年
3月に阿南市、
那賀川町、羽ノ浦
町の一市二町が合併し
新しく誕生した阿南市。
今回は旧那賀川町、旧羽ノ浦
町にあたる北部エリアを紹介。お
寺のお堂の中にある横穴石室や、
足利將軍家の末裔が暮らした平島
公方館跡、日本最大級の反射望遠
鏡など古今の見どころ盛りだく
さん。ここで忘れちゃいけないのが
那賀川ナカちゃん。今も「ナカち
ゃん住民票」で検索するとPDF
で住民票を見ることができます。

科学のふしぎ！を体験しよう！

様々な実験装置・体験装置を通じて科学のいろいろな原理を楽しく学ぶことができる阿南市科学センターの「体験館」。平日は主に学校の遠足など団体向け、土日祝や春・夏・秋・冬休み中は誰もが参加できる催しを実施しています（詳細は阿南市科学センターHPの利用案内を参照してください）。毎週土日におもしろ科学実験教室（参加無料）開催中。



▲天文館HPでは天体画像集を見ることができます。

毎月第2日曜日は探鳥会開催

県内最多170種余りの野鳥達の姿が記録されている那賀川出島野鳥園。バードウォッチングをするなら日本野鳥の会徳島のメンバーが常駐する日曜（9～15時）が初心者の方にはおすすめ。双眼鏡やスコープが備わった学習舎にて野鳥の観察方法や特徴・習性など教えてください。

☎ 阿南市那賀川町みどり台



▲利用時間は8～17時。入園無料。金曜がお休みです。

買う



▲ナカちゃん像とLEDで輝くナカちゃんモビールもあります。



▲大京原橋とJRの鉄橋の中間、辺り那賀川左岸にあります。

ナカちゃん forever

平成17年11月にひょっこり那賀川にやって来たアゴヒゲアザラシ。「ナカちゃん」の愛称で親しまれ、特別住民票の発行や名誉市民になるなど一躍人気者に。翌年8月死去するも地元有志の人達がナカちゃんを偲び記念モニュメントを建立しました。

☎ 阿南市那賀川町赤池 那賀川堤防

遊ぶ

全体高低差4.1mのフラットコース

18ホール／7011ヤードのコースは海岸線に位置するため、風によりがらりと表情が変わり、プレーする度に違った顔をみせてくれます。各種イベント・競技会も盛んに開催中。



コート・パール徳島

☎ 0884-42-3411

☎ 阿南市那賀川町みどり台1-1 [HP](http://cvt.co.jp/) <http://cvt.co.jp/>

圧倒されました、その大きさに

阿南市科学センター天文館にある口径113cm大型天体望遠鏡。四国で最大、国内でも5番目の大きさ！実物を前にすると圧倒されるほどデカイです。お話を聞くと、一番遠いもので20億光年先の天体が観測できるのだとか。毎週土曜に開催される夜間天体観望会（予約制・大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児は無料）は夏季（4月～10月）が19時～、20時～、21時～、冬季（11月～3月）が18時～、19時～、20時～。これからの時期は土星が見ごろですよ。

阿南市科学センター

☎ 0884-42-1600 ☎ 阿南市那賀川町上福井南川刈8-1

☎ 9:30～16:00 (体験館) ☎ 月曜(祝日の場合は翌火曜)、年末年始

¥ 無料 (体験館) [HP](http://ananscience.jp/science/) <http://ananscience.jp/science/>

▲主任研究員 (JAXA宇宙教育リーダー) 堀寿夫さんと口径113cm大型天体望遠鏡。

遊ぶ



▲阿南市指定文化財になっている墓所。岩脇の紫雲庵にあります。

日本医学界の先駆者 美馬順三先生

寛政7年(1795年)岩脇村の生まれ。来日後のオランダ商館医シールボルトに入門。西洋医学を学び鳴滝塾初代塾頭を務める。コレラに罹り31歳の若さで病没しましたが、石坂宗哲や賀川玄悦の医術を訳し海外へ発表。また、ジェンナーの種痘法を日本語訳するなど我が国医学界の先駆者として功績を残しています。

住 阿南市羽ノ浦町中庄



横穴式石室に如意輪観世音!

6世紀初めから7世紀頃の円墳とされる観音山古墳。南へ開口している横穴式石室の入口は、拳正寺如意輪閣の中にあります。1200年前、お大師様が唐から帰国後四国巡錫の際この地を訪れ石室内部を清掃し如意輪観世音を安置したとの言い伝えがあり以来穴観音と称し多くの信仰を集めています。

住 阿南市羽ノ浦町中庄千田池33



名器ピアノがある コスモホール

世界三大ピアノの一つ「ベーゼンドルファー」を有する阿南市情報文化センター2~3階にあるコスモホール(客席550席)。4月17日、海上自衛隊小松島航空基地開隊46周年音楽の夕べが開催されます(18~19時半)。



▲低音部にエクステンドベースを持ち、その部分は誤打を防ぐため白鍵も黒色に。

阿南市情報文化センター

☎ 0884-44-5000
住 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3



▲1階は図書館の阿南市情報文化センター。

羽ノ浦中学校のすぐ近く

全天候型テニスコート3面、バターゴルフコース(有料)やアスレチック広場(無料)を備えた羽ノ浦健康スポーツランド。山の斜面を利用した「はだしの道」や100mのローラー式すべり台などユニークな施設も。

羽ノ浦健康スポーツランド

☎ 0884-44-3000
住 阿南市羽ノ浦町宮倉沢田132
休 月曜(祝日の場合は翌火曜)



▲高床式校倉造りの特徴的な外観。



▲旧軍関係品や阿南鉄道の資料、大正年間からの小学校の教科書など目を見張るもの多数あり。

阿南市立阿波公方・民俗資料館

☎ 0884-42-2966
住 阿南市那賀川町古津339-1
営 9:00~16:30 休 月曜、祝日、年末年始
料 大人200円、中学生以下無料



▲平島公方館遺構の大臺。左に立っているのは近藤勝美館長代理。



▲1階には農具、民具がぎっしり。製材で栄えた那賀川町ならではのものも多数あり。

二つ引き両は足利家の家紋

室町幕府第10代将軍足利義植の養子義冬が阿波国守護細川持隆により平島庄古津村(現在の阿南市那賀川町古津字居)に迎えられたのが天文3年(1534年)。以来、第9代阿波公方義根が阿波国を退去するまで約270年間居を構えたのが平島公方館でした。その跡地に立つ阿南市立阿波公方・民俗資料館には足利氏を偲ぶ貴重な文化財を展示。館内に貼られている地元那賀川中学校の生徒さん達による調査資料は必読!阿波公方に関して実に興味深く教えてくれますよ。



▲公方の呼称は鎌倉時代以降は一般的に将軍、将軍家、幕府などを指すのだから。

室町幕府の将軍が眠る寺

室町10代将軍足利義植公、初代阿波公方足利義冬公、室町14代将軍足利義栄公をはじめ阿波公方一族の墓所がある西光寺。境内にある「阿波公方の由来」末尾にあるように、歴代阿波公方の墓所に前に「風雪に耐え若むして往年の面影を偲ばしむ」ところです。

住 阿南市那賀川町赤池



▲左端の小さいのが室町14代将軍足利義栄公のお墓。



▲本堂正面にある墓所。



第7回 (株)阿南自動車協会 (阿南市羽ノ浦町)



羽ノ浦町史 (昭和3年発行)

「わしやの小まいときは古庄駅 (大正5年に小松島市中田と羽ノ浦町古庄の間に開通した阿南鉄道) が終点。牟岐線が開通するまでは古庄までだったんよ。当時の古庄はものすごく栄えてってな、大きな料亭が2つも3つもあって盛んだった。写真の阿南自動車があったのは駅前からちょっと、はまったとこじゃ。うちの兄貴が自動車の修理にいっきよった」と話すのは大正13年生まれの久保精助さん。

久保さん所蔵の羽ノ浦町史 (昭和3年発行) には阿南自動車が次のように綴られています。[古庄より日和佐を経て大里に至るの往復は毎日四回、羽浦駅より富岡に至る間毎日往復六回、小松島港へ二回、新野町四回、由岐四回、橋町四回、の運転]。

阿南鉄道はその後、国鉄に買収され羽ノ浦古庄両駅間は木材搬出用の支線となるも、阿南自動車は「終戦後もだいがあったで。徳バスが統合するまでは走りよった」そうです。



久保精助さん

▲四国日中平和友好会会長 事務局長 会報編集者を16年間務める久保さん。『羽ノ浦町農業共済三十年史』『大陸従軍追想記』『中国訪中記』『山西訪中記』『私の宗教研究と真実の史実上巻・下巻』などの他にも随筆多数を著しています。



“おっちゃんおるよ”の看板が目印です

「山の人(山主さん)がな『なんでも自由にして』って云うてくれるけんできてな、これ。ホンマみんなのおかげで遊ばしてもらいよんよ」と話す「おっちゃん」こと石本文夫さん。手作りの遊び場『わかすぎ天国』をコツコツコツつくり続けて12年になります。

「子供好きじゃけんな、子供らと遊ぶんが目的で作ったん」と遊び場には大きな丸太のブランコやシーソー、ゆらゆらと揺れる橋や巨大イカダ、車のシートをワイヤに吊したターザン車等どれをとってもDIY精神溢れるものばかり。遊具ばかりではありません。炭焼き小屋や3〜4人程寝泊まりできる小屋、

地元 LOVE

四国の右下に暮らし、地元を愛する人やグループを紹介

第6回

わかすぎ天国 石本文夫さん



▲那賀町役場から木頭方面へ。丹生谷橋を渡ったら、仁宇の八幡神社を目指して下さい。神社の鳥居前を通り過ぎて道なりに進むと、「おっちゃんおるよ」の看板が前方に見えます。

さらにせせらぎの上にバーベキュースペースも作ってあるので。「一緒に交流やいうて木頭や相生や阿井の幼稚園のコヤが大勢で来たり、那賀高生も遠足に去年4月来てくれたな」と嬉しそうに石本さん。今では地元那賀町は言うに及ばず県内はおろか大阪や九州からやって来る人も！というのも「みんなに遊んでもらうたらほれで満足」とこの『わかすぎ天国』、無料開放なのです。ちなみに取材に訪れた日に出会ったのがカワイイ常連さん。地元驚敷小学校の芽留ちゃん、彩ちゃん、実優ちゃん。毎週のように遊びに来ると云う三人、お弁当持参で来ておりま



四国の右下とは、徳島県南部(阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町)のことで。



わじき七福神の1つ 水柱観音 (つららがんのん)

躍動感のある仏像彫刻に感動!

わじき七福神めぐり 日時:4/3 10:00~15:00 場所:那賀町鷺敷地区内の各寺社 停留所「東内」よりマイクロバスに乗りあわせ、各所の寺社にある七福神を巡ります。参加者には記念てぬい・スタンプ紙が配布されます。お問い合わせは、実行委員会事務局 岩川☎0884-62-1072まで。



那賀川流域センチュリーラン羽ノ浦大会開催!

申込締切:4/30 日時:5/29 小雨決行 9:10~ 場所:阿南市羽ノ浦町明見 那賀川河川敷公園 定員:A・Bコース 合わせて450名 参加資格:15歳以上の男女他 参加料:大人4,000円 中高生3,000円(参加記念品・保険料・完走証・軽食等を含む。) お問い合わせは大会事務局☎0884-44-2153まで。

剣山スーパー林道解禁間近!

4月中旬からの開通とともに、ログハウス風休憩所「山の家奥槍戸」軽い食事もできる休憩所「ファガスの森 高城」も営業を再開します。ドライブを楽しみながら休憩所でほっと一息ついてみませんか。開通日の情報は那賀町HPでご確認を。お問い合わせは那賀町役場木沢支所0884-65-2111まで。



「なでうさぎ」をなでて幸せGET!

阿南市椿町の蒲生田岬近くにある賀立(かたち)神社の境内にカワイイうさぎの石像2体が奉納されました。2体のうさぎ像をなでるとうさぎ神に願いが届くことでしょうか。「稲羽(いなば)の素(しろ)うさぎ」の神話が残るこの地。石像をなでながら歴史ロマンに触れよう!



マリンジャム、リニューアルオープン!

3/31(予定)までマリンジャム館内の改修工事を行っています。4月からリニューアルオープンします。ご期待ください!(ブルーマリンシーカヤックは通常通り営業しています。) お問い合わせはマリンジャム☎0884-76-3100まで。



もてなしの心、お接待in 四国の右下

牟岐町に「牟岐お接待の会」があります。場所は牟岐警察署向かいのテント。3~5月、9~11月の間、火曜~金曜 10:00~13:00、接待所に詰めて、通りかかるお遍路さんにお接待をしています。温かいもてなし、お遍路さんは元気づけられ、また次の札所へと歩いていくそうです。



「あさてつファンクラブ」会員募集!

3/31まで募集。利用促進イベントへの参加や写真撮影用グッズ無料貸出などファンにはたまらない会員特典がいっぱい! 申込は受付窓口・郵送・FAX・メール等で。年会費は個人1口1,000円、法人1口3,000円。詳しくは、阿佐海岸鉄道HPで。



四国の右下ter

阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町発信のニュースやお知らせ、イベント情報などをお届けします。

第1回 作品展

2/18(金)～

は じり とし かど
羽尻利門 (イラストレーター)

■プロフィール

1980年、兵庫県出石郡(旧)生まれ。2歳の時、京都市南区へ移住。大学時代から、カメラ片手に京都市内や滋賀、奈良の里山を自転車や徒歩でめぐり、様々な景色を取材する中で、絵画の創作を行ってきた。現在阿南市在住。
2006年、第7回インターナショナル・イラストレーション・コンペティション優秀賞。2008年、第4回日本イラストレーター協会展優秀賞。

～作品によせて～

「卒業」

悩み苦しんだ日々が、輝かしい青春の1ページに変わった日。淡い思い出は、今も僕の心をくすぐります。この絵のモチーフは阿南市大湊町です。新しい季節の中、素敵な出逢いが皆様にも訪れますように。

「春を探しに」

暖かな陽差しを感じる日が多くなって来ました。アトリエの窓に木漏れ日がさすと、筆を止めて外にとび出たくなります。この絵のモチーフは、阿南市横見町にあります。春はすぐそこです。



「卒業」



徳島県南部総合県民局では、阿南庁舎1階ロビーの一角を「県民ギャラリー」と名付け、徳島県南部にゆかりのある芸術家の作品を展示するスペースとしてあります。

あなん
県民ギャラリー

徳島県南部総合県民局 企画振興部 総務担当
☎0884-24-4112
〒774-0030 徳島県阿南市富岡町あ王谷46



「春を探しに」

徳島県南から、高知県境にかけての地域を「四国の右下」と呼んでいます。この情報誌は、「四国の右下」のすばらしい魅力を多くの方に知っていただくために発行します。情報、ご意見等がございましたら、ご連絡ください。

東北地方太平洋沖地震 徳島県の総合窓口一覧

区分	相談窓口設置場所	電話番号	設置時間
全般・総合窓口	危機管理政策課	088-621-2708	平日・休日 9:00~19:00
東京における相談窓口	徳島県東京事務所	03-5212-9022	平日 9:00~19:00
災害ボランティアに関する相談	県立防災センター	088-683-2100	平日・休日 9:00~18:00
救援物資の支援に関する相談	南海地震防災課	088-621-2297	平日・休日 9:00~18:00
義援金に関する相談	日本赤十字社 徳島県支部	088-631-6000	平日 9:00~17:00
中小企業への相談	地域経済課	088-621-2318	平日 9:00~18:00
被災地から県営住宅への入居に関する相談	住宅課	088-621-2590	平日 9:00~18:00
被災地から公立学校への受入に関する相談	教育委員会 学校政策課	088-621-3120	平日 9:00~18:00



時間のない人も気軽に
四国参りができる。
那賀川浴いに一週7km。
身体も心もリフレッシュ。

4月23日 地域の方によるお接待があります